

資料（調査票）

1 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（小学校6年生用）

入力フォーム

1

2

3

質問は15問です。だいたい15分くらいで回答できます。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（小学校6年生用）

- ・あなたの名前を書く必要はありません。だれがどんな回答をしたのか分からないように集計します。
- ・あなたの日ごろの行動や気持ちに最もあてはまるものを選んでください。
- ・「その他」を選んだときは、自分の答えを書いてください。
- ・あてはまるものがひとつもないときは、何も選ばなくていいです。

Q1. あなたにとって学校はどんな場所ですか？

- 楽しいときが多い
- まあ楽しい
- あまり楽しくない
- つらいときが多い

Q2. 学校にいるときに「楽しい」と感じるのはどんなときですか？3つまで選んでください。

Q1で「あまり楽しくない」、「つらいときが多い」を選んだ人も、少しでも楽しいと感じたことがあれば、そのときがどんなときだったかを選んでください。

- 授業中に問題が解けたとき
- 調べたり、実験したりしているとき
- 話し合いで色々な考えを出し合うとき
- 自分がやってみたいことに挑戦しているとき
- 先生や友だちが自分のことをほめたり、認めてくれたりしたとき
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき
- 委員会やクラブ活動などで他の学年の人と関わっているとき

- 給食を食べているとき
- 好きなことをして、のんびりと過ごしているとき
- 特にない
- その他

Q3. なやみや困ったことがあったときにはだれに相談しますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 家族
- 学校の先生
- 友達
- スクールカウンセラー、相談員
- インターネットなどの相談サイト
- 相談する人はいない
- 相談するほどのなやみや困ったことはない
- その他

Q4. セカンドスクールや宿はく行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、先生たちは、自分たちのアイデアや考えを聞いてくれますか？

- よく聞いてくれる
- 少し聞いてくれる
- あまり聞いてくれない
- 聞いてくれない

Q5. あなたは、セカンドスクールや宿はく行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういうことをがんばるのか」という目標を考えて取り組んでいますか？

- よく考えている
- 少し考えている
- あまり考えていない
- 考えていない

Q6. あなたは、今の学校のきまりやルールの中で「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているものはありますか？

- ある
- ない

Q6-2. それはどんなきまりやルールですか？

ここに、あなたが「おかしい」、「変えたい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q7. 学校で「もっとやってほしいこと」や「あなたがやってみたいこと」はどんなことですか？5つまで選んでください。

- 自分の考えを作文などで上手に表現できるようにすること
- 学習者用コンピュータなどを使って自分が興味のあることを調べること
- 自分たちで考えた新しい取り組みを市役所や会社に提案すること
- オンラインを使って、他の地域やふだん会えない人などと交流すること
- いろいろな学年や学級の子もたちと学んだり遊んだりして交流すること
- 学校や教室に行きづらくなったときの居場所をつくること
- 大学や会社の最新の研究を見たり、体験したりすること
- 図書館の本を学校で借りたり、学習者用コンピュータで電子書せきを読んだりすること

- たくさんの自然を見たりふれたりすること
- プロの音楽家の演奏をきいたり、美術作品を見たりすること
- 外国人や留学生と英語で話したり、遊んだりして交流すること
- スポーツ選手といっしょに体を動かしたり、話を聞いたりすること
- 医師などに病気の予防や体や心の健康について教えてもらうこと
- 動画や映像作品をつくったり、プログラミングでアプリやゲームをつくったりすること
- 先生や地域の人などと協力して、自分たちで学校のきまりや新しい取り組みをつくること
- 特にない

Q8. Q7以外に、学校で「もっとやってほしい」、「あなたがやってみたい」と思うことは何ですか？

ここに、上に書いてあるもの以外で、あなたが「もっとやってほしい」、「やってみたい」と思うことを書いてください。

0 / 60000

Q9. 放課後に、一番よくいる場所はどこですか？1つ選んでください。

- 自分の家
- 友達の家
- じゅく・習い事
- クラブ活動・部活動
- あそべえ・学童クラブ
- 公園
- 児童館・コミュニティセンター
- 祖父母・親せきの家
- その他

Q10. 放課後は、何をして過ごすことが多いですか？3つまで選んでください。

- 家族と過ごす
- 友達と遊ぶ
- 勉強（じゅくをふくむ）
- スポーツ（習い事をふくむ）
- 本を読む
- 音楽をきく・演奏する（習い事をふくむ）
- テレビを見る
- けい帯ゲーム・オンラインゲーム
- スマホ・タブレット・パソコンで動画・SNS（ツイッター・LINEなど）を見る（投稿する）
- 家族の手伝い
- その他

Q11. 放課後の勉強はどのようにしていますか？3つまで選んでください。

- 家で教科書や参考書を使って勉強する
- 家の人に教えてもらったり、家の人といっしょに勉強をしたりする
- 学習者用コンピュータや家のタブレットやパソコンを使って勉強する
- 学校の図書館で勉強する
- 学校以外の市のしせつ（コミュニティセンターや中央図書館など）で勉強する
- じゅくで勉強したり、家庭教師に教えてもらう
- 放課後は勉強をしない
- その他

Q12. 放課後や休日に、自分のやりたいことや好きなことをする時間はありますか？

- ある
- 少しある
- あまりない
- まったくない

Q13. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

「子どもの権利」とは、子どものみなさんが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なもののことです。

- 内容を知っている
- 名前だけ知っている
- まったく知らない

Q14. 武蔵野市が特に大切にしている8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか？大切だと思うものを、3つまで選んでください。

- 安心して生きる権利
- 自分らしく育つ権利
- 遊ぶ権利
- 休息する権利
- 自分の意思で学ぶ権利
- 自分の気持ちを尊重される権利
- 意見を表明し、参加する権利
- 差別されずに生きる権利

Q15. 家族の中にあなたがいつも助けたり、お世話をしたりしている人はいますか？


(注意) この質問では、「助けたり、お世話をしたり」とは、例えば、病気や障害がある家族の看病やかい護をしたり、幼いきょうだいに食事を作ってあげたりすることを言います。

- いる
 いない

Q16. 家族を助けたり、お世話をしたりすることで、あなたの生活にどんなえいきょうが出ていると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 学校の休みやちこくが増えた
- 学校への書類やプリントの提出がおくれる
- 自分のやりたいことや好きなことをする時間が少ない
- 勉強の時間が十分に取れない
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない
- 修学旅行などの宿はくする行事に参加することを迷う（または参加できない）
- お世話について相談できる人がいない
- お世話することがストレスでイライラすることが多い
- ねむかったり、体がだるかったりすることが多い
- しっかり食べていない
- 進路についてしっかり考える時間がない
- 特にえいきょうはない
- 分からない、答えたくない
- その他

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する

2 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（中学校3年生用）

入力フォーム

1

2

3

質問は15問です。だいたい15分くらいで回答できます。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（中学校3年生用）

- ・あなたの名前を書く必要はありません。だれがどんな回答をしたのか分からないように集計します。
- ・あなたの日ごろの行動や気持ちに最もあてはまるものを選んでください。
- ・「その他」を選んだときは、自分の答えを書いてください。
- ・あてはまるものがひとつもないときは、何も選ばなくていいです。

Q1. あなたにとって学校はどんな場所ですか？

- 楽しいときが多い
- まあ楽しい
- あまり楽しくない
- つらいときが多い

Q2. 学校にいるときに「楽しい」と感じるのはどんなときですか？3つまで選んでください。

Q1で「あまり楽しくない」、「つらいときが多い」を選んだ人も、少しでも楽しいと感じたことがあれば、そのときがどんなときだったかを選んでください。

- 授業中に問題が解けたとき
- 調べたり、実験したりしているとき
- 話し合いで色々な考えを出し合うとき
- 自分がやってみたいことに挑戦しているとき
- 先生や友だちが自分のことをほめたり、認めてくれたりしたとき
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりしているとき
- 委員会やクラブ活動などで他の学年の人と関わっているとき

- 給食を食べているとき
- 好きなことをして、のんびりと過ごしているとき
- 特にない
- その他

Q3. なやみや困ったことがあったときにはだれに相談しますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 家族
- 学校の先生
- 友達
- スクールカウンセラー、相談員
- インターネットなどの相談サイト
- 相談する人はいない
- 相談するほどのなやみや困ったことはない
- その他

Q4. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、先生たちは、自分たちのアイデアや考えを聞いてくれますか？

- よく聞いてくれる
- 少し聞いてくれる
- あまり聞いてくれない
- 聞いてくれない

Q5. あなたは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういうことをがんばるのか」という目標を考えて取り組んでいますか？

- よく考えている
- 少し考えている
- あまり考えていない
- 考えていない

Q6. あなたは、今の学校のきまりやルールの中で「これはおかしいな」と思ったり、「変えたいな」と思ったりしているものはありますか？

- ある
- ない

Q6-2. それはどんなきまりやルールですか？

ここに、あなたが「おかしい」、「変えたい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q7. 学校で「もっとやってほしいこと」や「あなたがやってみたいこと」はどんなことですか？5つまで選んでください。

- 自分の考えを作文などで上手に表現できるようにすること
- 学習者用コンピュータなどを使って自分が興味のあることを調べること
- 自分たちで考えた新しい取り組みを市役所や会社に提案すること
- オンラインを使って、他の地域や普段会えない人などと交流すること
- いろいろな学年や学級の子どもたちと学んだり遊んだりして交流すること
- 学校や教室に行きづらくなったときの居場所をつくること
- 大学や会社の最新の研究を見たり、体験したりすること
- 図書館の本を学校で借りたり、学習者用コンピュータで電子書籍を読んだりすること

- たくさんの自然を見たりふれたりすること
- プロの音楽家の演奏を聴いたり、美術作品を見たりすること
- 外国人や留学生と英語で話したり、遊んだりして交流すること
- スポーツ選手といっしょに体を動かしたり、話を聞いたりすること
- 医師などに病気の予防や体や心の健康について教えてもらうこと
- 動画や映像作品をつくったり、プログラミングでアプリやゲームをつくったりすること
- 先生や地域の人などと協力して、自分たちで学校のきまりや新しい取り組みをつくること
- 特にない

Q8. Q7以外に、学校で「もっとやってほしい」、「あなたがやってみたい」と思うことは何ですか？

ここに、上に書いてあるもの以外で、あなたが「もっとやってほしい」、「やってみたい」と思うことを書いてください。

0 / 60000

Q9. 放課後に、一番よくいる場所はどこですか？1つ選んでください。

- 自分の家
- 友達の家
- 塾・習い事
- クラブ活動・部活動
- あそべえ・学童クラブ
- 公園
- 児童館・コミュニティセンター
- 祖父母・親せきの家
- その他

Q10. 放課後は、何をして過ごすことが多いですか？3つまで選んでください。

- 家族と過ごす
- 友達と遊ぶ
- 勉強（塾を含む）
- スポーツ（習い事を含む）
- 本を読む
- 音楽をきく・演奏する（習い事を含む）
- テレビを見る
- 携帯ゲーム・オンラインゲーム
- スマホ・タブレット・パソコンで動画・SNS（ツイッター・LINEなど）を見る（投稿する）
- 家族の手伝い
- その他

Q11. 放課後の勉強はどのようにしていますか？3つまで選んでください。

- 家で教科書や参考書を使って勉強する
- 家の人に教えてもらったり、家の人と一緒に勉強をしたりする
- 学習者用コンピュータや家のタブレットやパソコンを使って勉強する
- 学校の図書館で勉強する
- 学校以外の市の施設（コミュニティセンターや中央図書館など）で勉強する
- 塾で勉強したり、家庭教師に教えてもらう
- 放課後は勉強をしない
- その他

Q12. 放課後や休日に、自分のやりたいことや好きなことをする時間はありますか？

- ある
- 少しある
- あまりない
- まったくない

Q13. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

「子どもの権利」とは、子どものみなさんが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なもののことです。

- 内容を知っている
- 名前だけ知っている
- まったく知らない

Q14. 武蔵野市が特に大切にしている8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか？大切だと思うものを、3つまで選んでください。

- 安心して生きる権利
- 自分らしく育つ権利
- 遊ぶ権利
- 休息する権利
- 自分の意思で学ぶ権利
- 自分の気持ちを尊重される権利
- 意見を表明し、参加する権利
- 差別されずに生きる権利

Q15. 家族の中にあなたがいつも助けたり、お世話をしたりしている人はいますか？


(注意) この質問では、「助けたり、お世話をしたり」とは、例えば、病気や障害がある家族の看病やかい護をしたり、幼いきょうだいに食事を作ってあげたりすることを言います。

- いる
 いない

Q16. 家族を助けたり、お世話をしたりすることで、あなたの生活にどんな影響が出ていると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 学校の休みや遅刻が増えた
- 学校への書類やプリントの提出が遅れる
- 自分のやりたいことや好きなことをする時間が少ない
- 勉強の時間が十分に取れない
- 友達と遊んだり、おしゃべりをしたりする時間が少ない
- 修学旅行などの宿泊する行事に参加することを迷う（または参加できない）
- お世話について相談できる人がいない
- お世話することがストレスでイライラすることが多い
- 眠かったり、体がだるかったりすることが多い
- しっかり食べていない
- 進路についてしっかり考える時間がない
- 特に影響はない
- 分からない、答えたくない
- その他

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する

3 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（保護者用）

入力フォーム

1

2

3

アンケートは15問です。15分くらいで回答できますので、令和5年7月25日までに回答してください。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（保護者用）

- ・このアンケートは、「第四期学校教育計画」と「第六次子どもプラン武蔵野」を作るために活用します。
- ・市立小学校6年生と市立中学校3年生の保護者の皆様全員を対象としています（7月25日締切）。
- ・アンケートの結果は、個人の回答内容が分からないように集計して公表する予定です。
- ・自分の気持ちや回答にあてはまる項目を、それぞれの質問で指定してある数以内で選んで回答してください。
- ・あてはまる項目がひとつもないときは、何も選ばなくてもいいです。
- ・アンケートの回答は、1回のみ有効です。

Q1. 回答の対象となるお子さんの学年は、次のうちどちらですか？

市立小学校6年生と市立中学校3年生のお子さんが2人以上いる場合は、一番年上のお子さんについて回答してください。

- 小学校6年生
- 中学校3年生

Q2. お子さんは学校に楽しそうに通っていますか？

- いつも楽しそう
- 楽しそうなときが多い
- 楽しそうでないときが多い
- いつも楽しそうでない
- 分からない

Q3. お子さんは、次のような学校での出来事を家で話しますか？家で話すことを3つまで選んでください。

- その日学習したこと
- 友達と話したことや遊んだこと
- 学校の先生のこと
- 学校で困っていること
- 進路や将来のこと
- 学校での出来事は話さない
- 子どもから話を聞く時間がない
- その他

Q4. お子さんの日常生活について心配していることはありますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 友人関係
- 登校しぶりや不登校
- 勉強や成績のこと
- クラブ活動や部活動のこと
- SNSとの付き合い方
- 仕事や家事が忙しくて子どもと関わる時間が少ない
- 特になし
- その他

Q5. あなたが子育てで悩んでいたりする時、誰に相談できますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 家族
- 学校の先生
- カウンセラーなどの専門家
- 知人・友人
- 市役所
- インターネットなどの相談サイト
- SNSでつながった人
- 相談できる人はいない
- 相談したいことはない
- その他

Q6. 先生たちは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイデアや考えを聞いていると思いますか？

- よく聞いている
- 少しは聞いている
- あまり聞いていない
- 聞いていない
- 分からない

Q7. お子さんは、セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えて取り組んでいますか？

- よく考えている
- 少し考えている
- あまり考えていない
- 考えていない
- 分からない

Q8. あなたは、今の学校のきまりやルールの中で、「これはおかしい」と思ったり、「変えてほしい」と思ったりしているものはありますか？

- ある
- ない

Q8-2.それはどんなきまりやルールですか？

ここに、あなたが「おかしい」「変えたい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q9. 学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」はどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

(ア) 生涯に渡る学びの基盤となる資質・能力の育成

- 学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級会や生徒会活動等における話し合いを通じた合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインに基づく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の実施の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、相談員・関係機関やNPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利に関する理解の促進、人権課題の理解など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、進学先との連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSでのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性向上（教員が研究会等への参加することの補助や支援）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q10. Q9で挙げたもの以外に進めた方がよい、取り組んでほしいと思うことはどんなことですか？

ここに、Q9の選択項目以外で進めた方がよい、取り組んでほしいと思うことを書いてください。

0 / 60000

Q11. Q9で挙げたもののうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、あなたが学校に協力できるものはありますか？複数ある場合は、複数の回答を選べます。

(ア) 生涯に渡る学びの基盤となる資質・能力の育成

- 学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わったり協力したりする学びの充実
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイデアによる学校図書館活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級会や生徒会活動等における話し合いを通じた合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインに基づく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の実施の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、相談員・関係機関やNPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利に関する理解の促進、人権課題の理解など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、進学先との連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSでのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人管理体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性向上（教員が研究会等への参加することの補助や支援）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q12. 武蔵野市の教育に関する施策で、知っているものはありますか？知っているものをすべて選んでください。

- 学校司書（令和4年度まで「図書館サポーター」）の配置
- 武蔵野市民科の実施
- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- スクールカウンセラーによる相談
- 家庭と子どもの支援員による不登校対応
- 就学援助制度（学用品費、給食費の援助）
- 小学校への市講師の配置による教員の多忙化緩和
- 中学校への部活動指導員の配置
- 開かれた学校づくり協議会
- 広報誌「きょういく武蔵野」の発行
- 武蔵野市子どもの権利条例

Q13. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

「子どもの権利」とは子どもが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なもののことです。

- 内容を知っている。
- 名前だけ知っている。
- 全く知らない。

Q14. 子どもに関わる費用で負担を感じているもの、または費用負担のためにあきらめているものはありますか？あてはまる項目をすべて選んでください。

- 学校の教材費
- 給食費
- 習いごと（ピアノ、ダンス、書道など）やスポーツクラブでの活動（水泳、野球、サッカーなど）の費用（クラブ活動、部活動を含む）
- 学力向上のための費用（塾、学習参考書、通信教材）
- 芸術鑑賞（コンサート、美術館に行くなど）
- 自然体験活動（キャンプ、登山、海水浴など）
- 異文化交流（外国人との交流、外国訪問など）
- スマホなどの通信費
- 大学等への進学のための費用
- 特になし

Q15. 次の項目のうち、地域や保護者のボランティアが行うなど、必ずしも学校が担う必要がないと思うものがありますか？あてはまるものをすべて選んでください。


- 登下校時の見守り
- 放課後や夜間、お祭りの時の見回り
- 地域のボランティアと学校との連絡調整
- 休み時間の校庭等での遊びの見守り
- 校内清掃
- 中学校の部活動や小学校の吹奏楽部、合唱クラブの練習
- 給食の配膳準備や見守り

運動会などの学校行事の準備、運営の手伝い

この項目の中にはない

その他

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する

4 【武蔵野市】子どもの学習・生活に関する調査（教員用）

入力フォーム

1 2 3

質問は15問です。15分くらいで終わります。

武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（教員向け）

- ・教育委員会では、今年度から来年度にかけて、第四期武蔵野市学校教育計画（令和7～11年度）の策定を行います。
- ・このアンケートは、計画策定のための基礎資料として活用するため、武蔵野市立の小・中学校の教員全員を対象に行うものです。
- ・あてはまる項目が一つもないときは、何も選ばなくて構いません。
- ・アンケートは匿名で行い、集計しますので、個人が特定されることはありません。

Q1. あなたが勤務している学校は次のどちらですか？ 必須

小学校

中学校

Q2. 武蔵野市の学校に勤務した年数（通算）はどの区分に当てはまりますか？ 必須

1年未満

1年以上5年未満

5年以上10年未満

10年以上

Q3. あなたの職名は次のうちどれですか？ 必須

校長

副校長

主幹教諭・指導教諭

主任教諭・主任養護教諭

教諭・養護教諭

非常勤教員

Q4. 今の仕事にやりがいや充実感を感じていますか？

- よく感じている
- 感じるときもある
- 感じるときは少ない
- まったく感じない
- 分からない

Q5. どんなときに仕事のやりがいや充実感を感じますか？あてはまるものすべてを選択してください。

- 受け持っている子どもの成長を感じたとき
- 子どもからの相談を受けているとき
- 学校行事や大きな取り組みがうまくいったとき
- 子どもや保護者から感謝の言葉を述べられたとき
- 保護者の悩みなどの相談を受けているとき
- 同僚から授業などの相談を受けているとき
- 授業準備や教材研究をしているとき
- 同僚や管理職から自分の仕事が認められたとき
- その他

Q6. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちのアイデアや考えを聞いていますか？

- よく聞いている
- 少しは聞いている
- あまり聞いていない
- 聞いていない

Q7. セカンドスクールや宿泊行事、運動会など、学校の取り組みや行事のときに、子どもたちに「何のために行うのか」という目的や「どういったことをがんばるか」という目標を考えさせていますか？

- よく考えさせている
- たまに考えさせている
- あまり考えさせていない
- 考えさせていない

Q8. 今いる学校のきまりやルールの中で「これはおかしい」と思ったり、「変えた方がよい」と思ったりするものはありますか？

- ある
- ない

Q8-2.それはどんなルールですか？

ここに、「これはおかしい」、「変えた方がよい」と思っているきまりやルールを書いてください。

0 / 60000

Q9. 今後、学校教育で「もっとやっていくとよい」と思うのはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

(ア) 生涯に渡る学びの基礎となる資質・能力の育成

- 学習の基礎となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイデアによる学校図書館の活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組の充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通じた合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、SCやSSWなど関係機関、NPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保子小の連携、小中の連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館等との連携、STEAM教育など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q10. Q9以外に、市立小・中学校全体で進めていくとよいと、あなたが考える取り組みはどんなことですか？

ここに、上の選択項目以外で、あなたが進めていくとよいと考える取り組みを書いてください。

0 / 60000

Q11. Q9で掲げた取り組みのうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、保護者、地域、専門家の協力を得たい取り組みはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

(ア) 生涯に渡る学びの基礎となる資質・能力の育成

- 学習の基礎となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）
- 読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館の活性化など）
- 健康教育・体力向上の取組の充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）

(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり

- 子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）
- 多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通じた合意形成など）
- 市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）

(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実

- 特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）
- 特別支援学級の実施の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）
- 不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、SCやSSWなど関係機関、NPOとの連携など）

(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり

- 人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）
- 生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）
- 切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保子小の連携、小中の連携など）

(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進

- 理数教育の推進（大学・企業・科学館等との連携、STEAM教育など）
- 体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞など）
- 外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）
- デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（Chat GPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSのコミュニケーションのあり方など）

(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成

- 働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）
- 教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）
- 次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）

(キ) 社会に開かれた教育課程の推進

- 開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）
- 地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）

Q12. 武蔵野市では市講師や部活動指導員、ICTサポーターなど様々な人材を学校に配置や派遣をしています。こうした人材との連携を進めていく上で、どのような課題があると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

- 学校に来る人材が、それぞれどのような役割を担っているのかが分からない
- 勤務時間内に打ち合わせをする時間がない
- 学校の実態に合った人材を探すことが難しい
- 学校教育や子どもに関わる人材としての素養が不十分な場合がある
- その他

Q13. 武蔵野市の施策で知っているものをすべて選んでください。

- 学校司書（図書館サポーター）の配置
- 武蔵野市民科の実施
- 地域の教育力予算
- デジタル・シティズンシップ教育
- プログラミング教材の貸出
- 教育相談員の配置
- 家庭と子どもの支援員による不登校対応
- 子どもの家庭生活 気づきのチェックリスト
- 就学援助制度（学用品費や給食費の援助、所得制限あり。）
- 小学校への市講師の配置による教員の多忙化緩和
- 中学校部活動指導員の配置
- 研究課題の発表会等への参加費補助
- 開かれた学校づくり協議会
- 広報誌「きょういく武蔵野」の発行
- 子どもの権利条例

Q14. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

子どもの権利とは子どもが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり、活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なもののことです。

- 内容を知っている
- 名前だけ知っている
- 全く知らない


武蔵野市が特に大切にしている8つの子どもの権利とは、

「安心して生きる権利」「自分らしく育つ権利」「遊ぶ権利」「休息する権利」
「自分の意志で学ぶ権利」「自分の気持ちを尊重される権利」「意見を表明し、参加する権利」「差別されずに生きる権利」のことを言います。

Q15. 子どもに「子どもの権利」を教えるにあたって、どのような難しさを感じていますか？

- 適切な教材がない
- 子どもに関心を持ってもらうのが難しい
- 子どもの権利について教える時間がない
- 子どもの権利を教える具体的な方法が分からない
- 自分自身が子どもの権利をよく理解できていない
- 難しさを感じていない
- その他

→ 確認画面へ進む

 入力内容を一時保存する

令和5年度
武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査報告書

発行年月 令和6年1月
発行 武蔵野市教育委員会教育部教育企画課
武蔵野市緑町2-2-28
電話 0422-60-1894

